

## 令和4年度第1回教育課程編成委員会 議事録

【日 時】令和4年7月15日（金）10：00～10：45

【場 所】こころ医療福祉専門学校壱岐校

【委 員】壱岐市社会福祉協議会会長 末永 榮幸

壱岐市立老人ホーム所長 白川 昇吾

社会福祉法人博愛会特別養護老人ホームハッピーヒルズ（幸せの丘）

施設長 永田 信弘

こころ医療福祉専門学校壱岐校校長 後藤久志

こころ医療福祉専門学校壱岐校教育部

介護福祉科学科長 田島百合子

【事務局】中原 正和

- 議 題
- 1 教育方針等について
  - 2 令和4年度重点目標
  - 3 介護福祉科の教育方針
  - 4 令和3年度経過報告と令和4年度行事予定
  - 5 教育課程について
  - 6 在籍学生数
  - 7 所属職員

### 内 容

#### （1）教育方針等について

（配付資料にもとづいて、こころ医療福祉専門学校壱岐校教育理念について確認。）

事務局:シンプルに「地域のため」の精神を大切に、心のこもった介護を施せる人材の育成に努めたい。島内唯一の専門学校として、壱岐市内の介護にかかわる人材を育成することで、子供や保護者、地域に貢献をしていきたい。

学生にとっては、家から通学でき安心して学べるメリットがあり、また、アルバイト活動にも時間的にゆとりがもてる。一旦外へ出て壱岐へ帰ってくる者もいるが、市内の若者を卒業後島内で就職させるという地域貢献ができていると考える。社協の研修生にも国家試験に必ず合格して職場に入るという自覚が持てるように、できるよう叱咤激励していただきたい。また留学生は、これまでの先輩留学生の頑張りがあったお陰で現在の活動が成り立っている。

委員:恩返しの気持ちがあれば頑張れると思うが、今は親の言うことを聞かない。時代が変わり強制的なことは言えないが、自分に負けてはだめ、目標を失ったらだめだということ。

## (2) 令和4年度重点目標

事務局:昨年度日本人学生の国家試験合格率が50%。日本人100%合格を目指したい。学生募集に関しては、卒業予定の生徒が島内全体で100名もいない。そして専門学校へ行く生徒が少ない。親も一旦島外へ出ることを容認している。壱岐で学ぶことでお金を使わずに済むことを訴えたい。感染予防については、ここまで一人の感染者も出ていない。留学生よりも日本人学生が心配だが、陽性者ゼロを継続していきたい。

## (3) 介護福祉科の教育方針

事務局:ソフト面としての「人材」、ハード面としての「地域」、これを組み合わせ、思いやりのある自ら行動できる人材の育成に努めたい。

## (4) 令和3年度経過報告と令和4年度行事予定

事務局:令和3年度は県議や県の担当者など多くの方が視察に来られた。この点については、本校の取組に高い関心が寄せられていると感じる。また施設実習に関しては、コロナ禍でありながら多くの施設で受け入れをしていただき大変感謝している。卒業式後に留学生が離島する際には、施設の方々や利用者など多くの見送りに驚きました。今年度の行事として、4月1日にはいち早く入学式を実施した。オリエンテーションや安心防犯講習会を実施、新入生歓迎バスハイクも行い交流を深めた。施設実習については、現在2年生が最終段階の実習に行っているが、就職先を意識している学生もいるので、厳しく指導していきたい。

## (5) 教育課程について

事務局:今年度の2年生から「人間関係とコミュニケーション」のカリキュラム変更が行われた。「介護の分野」では、実習を456時間に設定しているが、450時間をクリアしないと卒業できない。本校では、456時間57日間を3段階に分けている。第1段階は見学中心だが、第2第3段階では介護計画を立てる課題があるため、実際の利用者と接して計画を立てている。壱岐と違って長崎市では、コロナ禍で実習自体受け入

れてもらえない。「医療的ケア」については、実地研修ができないので、校内での講義となっている。施設実習自体も許可をもらわないとできない。授業が11時からなので、朝アルバイトをする生徒もいるが、二度寝して遅刻する生徒も時々いるので就職したら大変だなと心配している。

#### (6) 在籍学生数

事務局：10月には就職面談会を実施していたが、今年度は就職が決まっていない学生が少ないこともあり個別に施設にお願いして見学させていただきたい。全学年30名。留学生，日本人，共におとなしい。壱岐校は「壱岐のこころ」の学校と間違った認識をされていることもあるため払拭していかなければならない。卒業生は壱岐島内のあらゆる事業所へ就職している。広報活動によって、そのことを理解していただいた市民も多くなり、現在は入学に関する問い合わせも多く、今後に期待している。

7月1日から「壱岐のこころ」の技能実習生2名が入寮している。

委員：企業体系が公務員と違う。基本給が低く、資格をしっかりと取らないと給与が上がらない。民間企業は厳しい。この学校の凝縮された2年間の教育課程によって技能や知識を十分に身に付けてから就職してほしい。

委員：壱岐市社会福祉協議会から、各学年2名の学生を入学させている。その目的をしっかりと学生には理解してほしい。高校卒業後すぐに就職するのではなく、この学校でしっかりと技能や知識を習得して就職してもらうことの意義を考えてほしい。雇う側、利用者からすればその違いはとても大きい。

事務局：留学生は自由がないと言うが、何のために壱岐で2年間勉強するのか、年々修学の意識が低くなっており、覚悟ができていない。

委員：壱岐校より入職した職員の頑張りはどうか。

委員：うちの施設に就職している2名（日本人、留学生）はよく頑張っている。留学生も日本語は上達しているが中々車の免許が取得できないでいる。

委員：やはり日本語は難しいと言っている。同じ国の者ではない時は日本語で話しているが、それ以外では母国語で話をしているので上達が難しいのかもしれない。

#### (7) 所属職員

事務局：専任教員の配置は3名と決まっている。非常勤として今年度新規で

3名お願いしている。「光風」の草野先生、「壱岐のこころ」の戎谷さん、また国語教員として佐世保校日本語科の山中先生には、リモートでの授業をお願いしている。

以上をもって令和4年度第1回教育課程編成委員会を終了いたします。